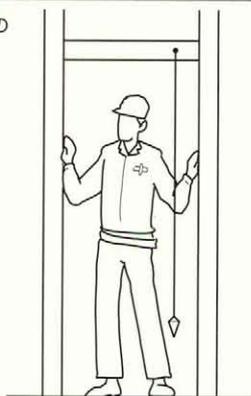


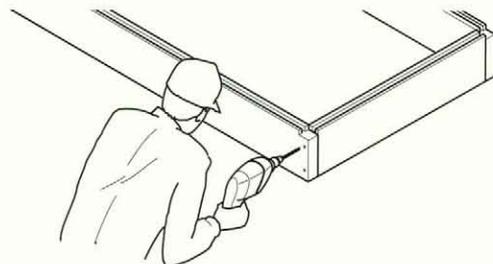
クローゼットドア 開き戸

■施工フロー

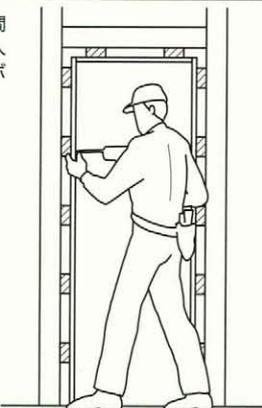
1 水準器・下げ振り等で開口部の水平・垂直を出します。



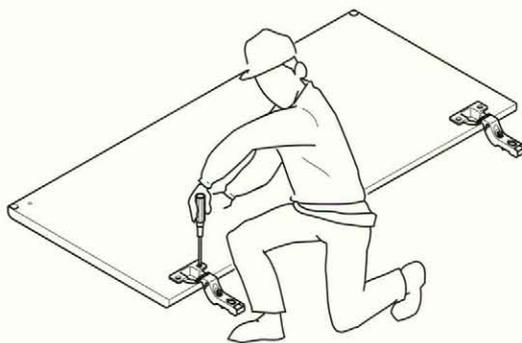
2 下枠を使用しない場合と埋込下枠使用の場合は、縦枠下部をカットします。上枠・縦枠を組みます。薄下枠を使用する場合、薄下枠を組みます。



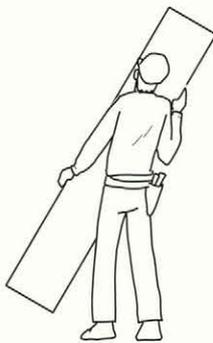
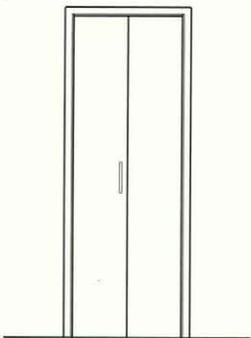
3 枠と柱・間柱・まぐさとの間に隙間をつくり、かい木を入れます。枠をねじと木工用ボンドで躯体に固定します。



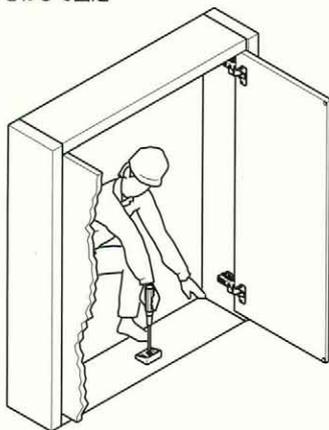
4 扉に丁番をねじで固定します。



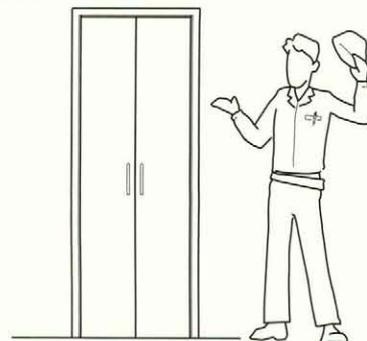
5 ケーシング取付け後、本体を枠に吊込み、把手を取付けます。



6 下部の戸当たりをねじで固定します。



7 最後に建付け調整を行なってください。



お願い

施工時の建具養生等、粘着テープ類の直貼りはお止め下さいますようお願い申し上げます。

建具類の表面シートはトップコートとよばれる表面強化により保護されています。ただし、粘着力の強いテープ(ガムテープ・養生テープなど)を長い時間、建具表面などに直貼りしますと、そのテープをはがす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。

商品の色は、印刷の特性上、実物とは多少異なる場合がございますのでご了承ください。
掲載価格には、消費税、ガラス代(ガラス組込商品を除く)、組立代、取付費、運賃等は含まれておりません。

クローゼットドア 両開き戸①

■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物の損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず木工用ボンド（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に木工用ボンドを塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 丁番3枚吊り、4枚吊りの扉は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。また、扉を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

▲注意

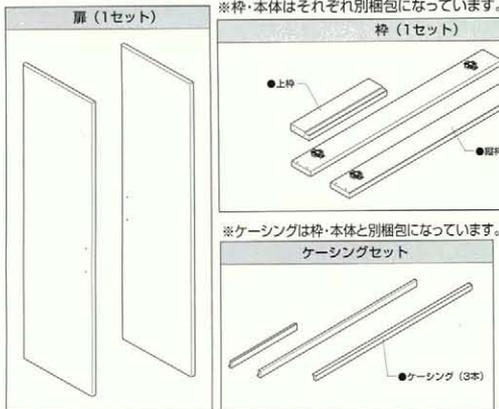
- 扉の脱落の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・指定のねじで丁番を締付け、必ずガタツキのないように固定してください。
 - ・扉の吊込みを行う場合は、扉の丁番カフがキャビネット側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。

- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥剤（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まくさとの間には必ず隙間をつくり、かい木をいれてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 下枠の納め方に応じて縦枠を切断してください。
- 丁番3枚吊り、4枚吊りの扉は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。また、扉を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

■縦枠の切断

薄下枠	切断不要
埋込下枠	切断(12mm)

■各部の名称



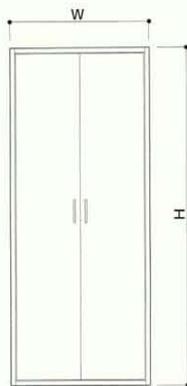
■部品セット一覧

■本体部品セット		■枠部品セット			
呼称	部品名称	呼称	部品名称	呼称	部品名称
下枠	0709・0712 0809・0812	薄下枠	4	埋込下枠	2
	0718・0818	埋込下枠 (W12, 13)	-	埋込下枠	2
	0720・0723 0820・0823 1220・1223 1320・1323	埋込下枠 (W12, 13)	-	埋込下枠	2
縦枠	0709・0712 0809・0812	縦枠	2	縦枠	2
	0718・0818	縦枠	2	縦枠	2
	0720・0723 0820・0823 1220・1223 1320・1323	縦枠	2	縦枠	2

■開口部の確認

- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- 開口部寸法は下記寸法になっていることを確認してください。

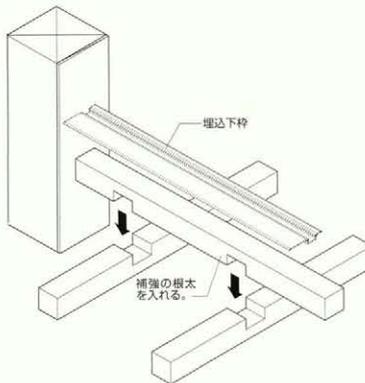
開口H方向：H+5mm
開口W方向：W+10mm



■床の張り方

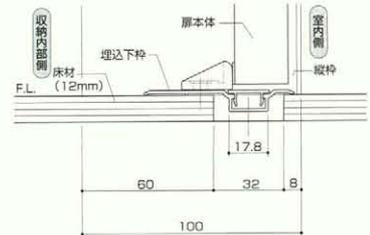
(床先張り(枠後付け)の場合)

- 1 埋込下枠の確認
 - 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や扉開閉不具合の原因となります。



2 床張り位置(床の張込み)

- 下図の位置に32mm(最小開口25mm)あけて床材を張ってください。

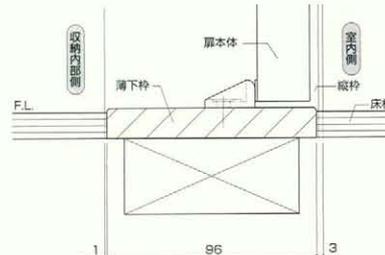


【お願い】

床材は必ず図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

(床後張り(枠先付け)の場合)

- 枠の取付け後、縦枠・薄下枠に沿って床材を張ってください。



室内ドア
室内引戸
クローゼット ドア
戸襖

規格表

室内ドア
室内引戸
クローゼット ドア
戸襖
有償部品

特注 対応品

ガラス寸法

基本寸法 納まり図

組立施工説明 お手入れ方法

発注書

用語解説 索引

クローゼットドア 両開き戸②

商品特長
商品一覧

室内ドア

室内引戸

クローゼット
ドア

戸襖

規格表

室内ドア

室内引戸

クローゼット
ドア

戸襖

有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

■取付け詳細

① 枠の組立て

【床後張り(枠後付け)の場合】

※埋込下枠セットを使用してください。



①縦枠斜線部を切断します。

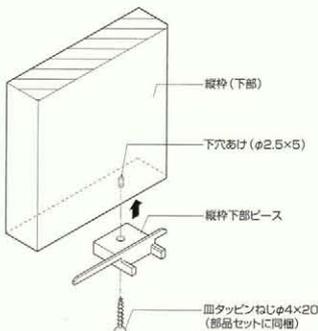


●切断寸法(12mm)は、H09の場合、床上面(F.L)から上枠上端までの寸法を878mm(H12=1178mm、H18=1823mm、H20=2023mm、H23=2306mm)にする場合を示します。

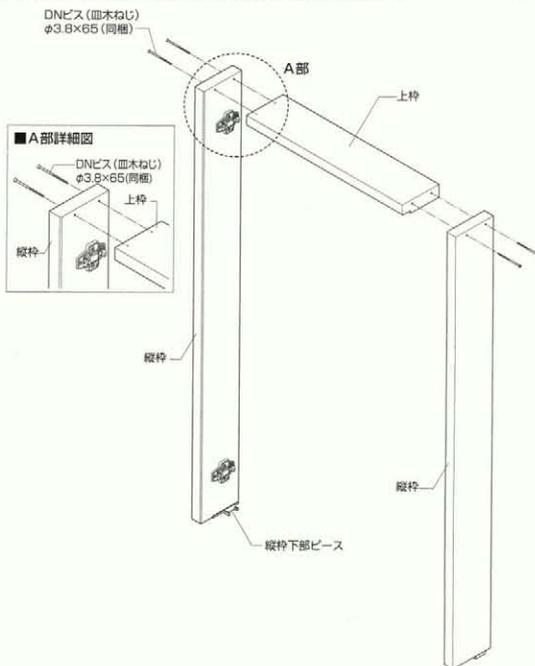
※現場の納まりによって加工寸法を決めてください。

※扉の下木口と床面の隙間を10mm以上あけるような納まりは、戸当たり部品が機能しなくなりますのでご注意ください。

②縦枠に縦枠下部ビスをねじ(皿タッピンねじφ4×20)で固定します。縦枠に下穴(φ2.5×5)をあける時は、取付説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをすると簡単にあげることができます。

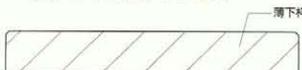


③上枠と縦枠を、DNビス(皿木ねじ)φ3.8×65で止めて枠組みします。



【床後張り(枠先付け)の場合】

※薄下枠セットを使用してください。



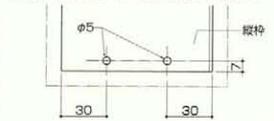
①縦枠の下端にφ5、薄下枠にφ3.0~3.2、深さ20以上の下穴をあけます。

②上枠・薄下枠と縦枠を、DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で止めて枠組みします。

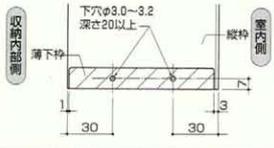
※薄下枠を組合わせる際、組合わせ面を水平に調整した後、DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定します。

【薄下枠取付け部詳細図】

①縦枠を切断せずに下穴をあけてください。

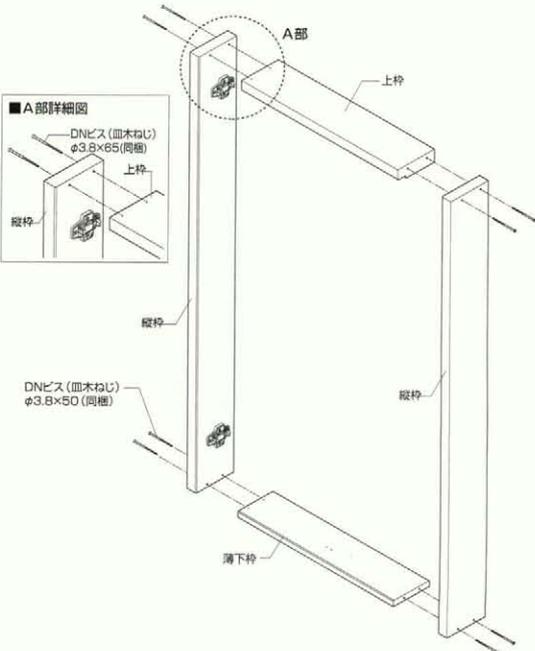


※薄下枠は下図の縦枠との組み位置に合わせて下穴をあけてください。



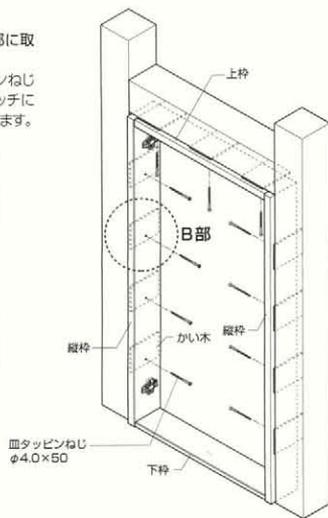
※この面を平らにしてください。

※下地材(t=3mm)を付ける場合にも、縦枠と薄下枠の下面を合わせてください。(下地材は現場手配です。)



2 枠の取付け

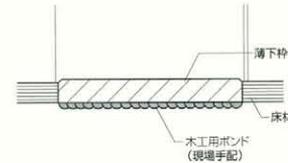
①組立てた枠を、開口部に取付けます。
※取付けねじ(皿タップねじφ4.0×50)と同じピッチになるようにかい木を入れます。



②下枠を躯体へ固定します。

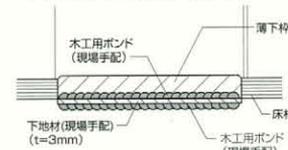
【薄下枠の場合】

●床材厚さ12mm
※必ず薄下枠に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



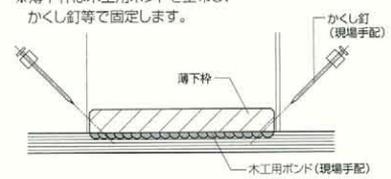
●床材厚さ15mm

※必ず薄下枠と下地材に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



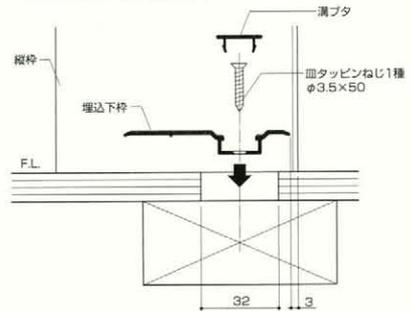
【床先張り(枠後付け)の場合】

●床材厚さ15mm
※薄下枠は木工用ボンドを塗布し、かくし釘等で固定します。



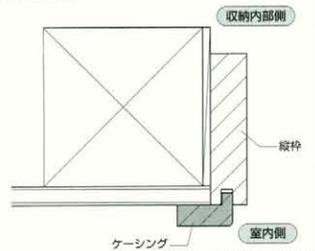
【埋込下枠の場合】

●埋込下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝プタをはめ込みます。



●ケーシングタイプの取付け

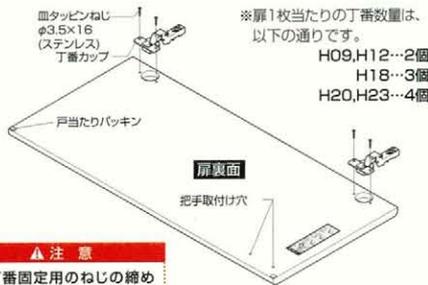
組立てた枠を開口部に入れます。次に縦枠にケーシングを差込み、枠の固定位置を確認します。
※ケーシングの足が短いため、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。
※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



3 扉の吊込み

①丁番を、同梱のねじで扉に取付けます。

※ねじが曲がらないように、必ず手回しで取付けてください。ねじが曲がると、扉が固定できなくなりますので、ご注意ください。



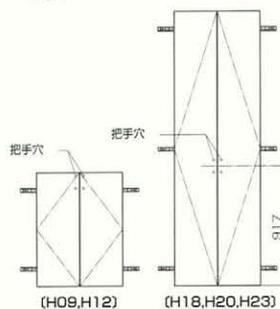
※扉1枚当たりの丁番数量は、以下の通りです。
H09,H12...2個
H18...3個
H20,H23...4個

▲注意

●丁番固定用のねじの締め忘れ・ゆるみ等は、扉の脱落の原因となります。必ずガタつきがないように固定してください。

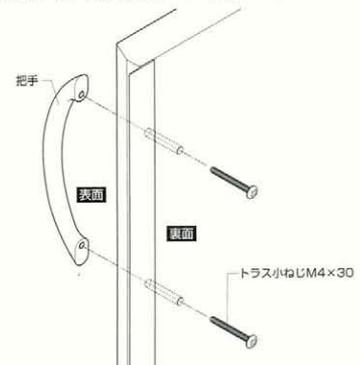
②扉の左右勝手の確認

●H09,H12は把手穴が上になります。
●H18,H20,H23は、下端より上下把手穴中心までの寸法が917mmになります。



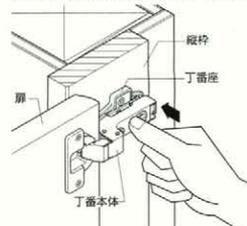
③把手の取付け

※把手セットは本体に同梱されています。

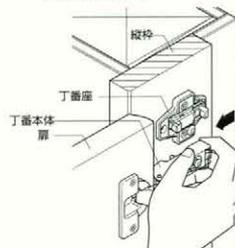


④扉の吊込み条件

●扉の丁番本体を縦枠の丁番座にセットし、上から押し込むだけで簡単にセットできます。



●取外す場合は、先端のスイッチ(黒色)を押し込むと外れます。



▲注意

●扉の吊込みを行う場合は、扉の丁番カップがキャビネット側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。扉の落下の原因となります。

※最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。
※扉を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

商品特長 商品一覧

室内ドア
室内引戸
クローゼット
ドア
戸楔

規格表

室内ドア
室内引戸
クローゼット
ドア
戸楔
有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

クローゼットドア 両開き戸③

商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸換

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸換
- 有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

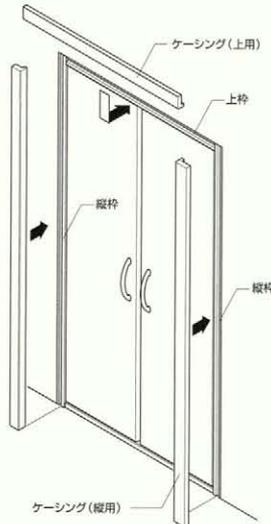
組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

4 ケーシング枠の取付け

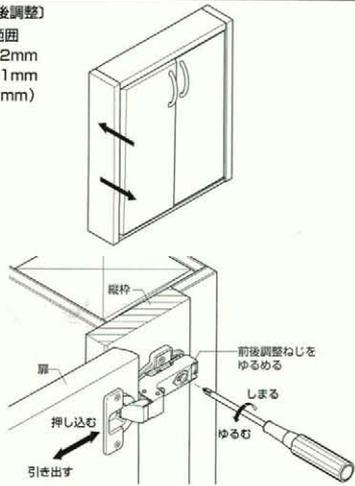
- ※壁材・床材を仕上げた後からケーシングを取付けてください。
- ①別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。(上用ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に木工用ボンド(現場手配)塗布し、ケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



5 扉の建付け調整

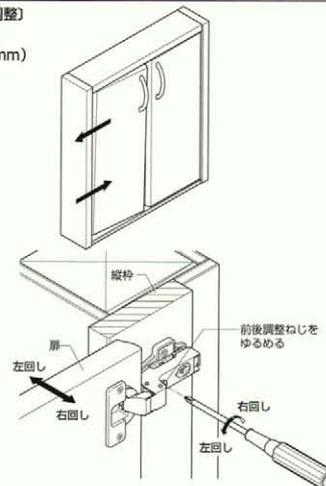
【扉の前後調整】

- 調整範囲
前方向2mm
後方向1mm
(合計3mm)



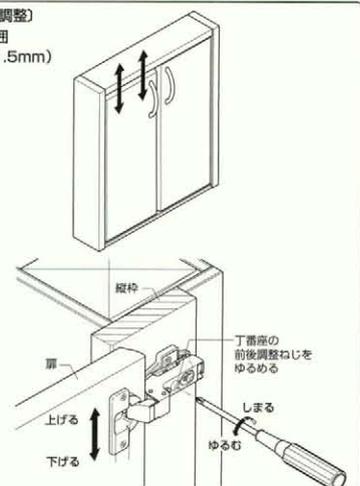
【扉の左右調整】

- 調整範囲
(合計±2mm)



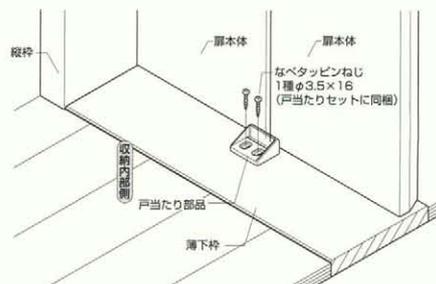
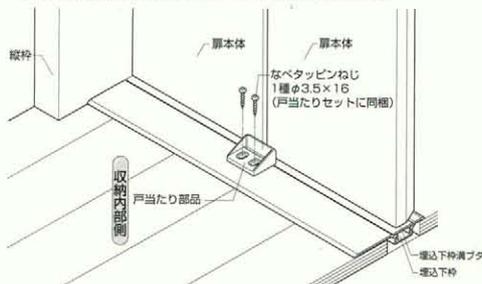
【扉の上下調整】

- 調整範囲
(合計±1.5mm)



6 下部戸当たりの取付け

- ①扉を枠に吊込み建付け調整を行なった後、戸当たり部品をなべタッピンねじ1種φ3.5×16(枠品セットに同梱)で固定します。



7 戸当たり部品の調整

- ①扉の建付け調整を行なった後、扉を閉めて戸当たり部品とあたっていることを確認してください。
- ※扉と戸当たり部品があたらない場合は、戸当たり部品取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲:奥行き方向に±1.5mm)

